



若築建設株式会社 技術研究所

～チームワークが生み出す技術力～

今年8月に設立10周年を迎える若築建設技術研究所。所長を含め総勢16名、経験豊富なスペシャリストが、海洋を舞台にした複雑で困難な課題の解決、技術開発に取り組んでいる。



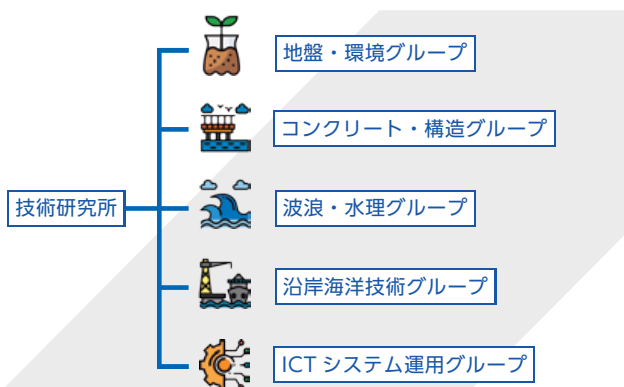
CDIT取材班が、品川からアクアライン経由の高速バスに乗り、国際拠点港湾・千葉港南袖ケ浦地区の埠頭エリアに立つ研究所に向かったのは、年の瀬も迫った12月23日。壹岐直之所長にお話を伺った。

研究所の全体像は

技術革新や総合評価落札方式に対応して当社の競争力を向上させるため、2015年8月に設立されました。現在、総勢16名、フットワークが軽く、また支店・現場との連携がよいのが特色です。小さな組織であることがメリットになれば、と思っています。研究グループは5つ



壹岐直之所長



あり、総じて現場指向が強い研究・開発を行っています。近年はICTにも力を入れており、「波浪・水理グループ」は沿岸・海上工事におけるICT技術の開発を担当し、「ICTシステム運用グループ」は開発したICT技術の現場での運用サポートを主として行っています。

室内実験場、大型実験水槽、恒温槽、万能試験機、土質試験室、電気・電子工作室が主な実験施設です。

研究者の採用・育成は

新卒採用募集の際に当研究所でもインターンシップで学生を受け入れており、今年度は70名の学生を受け入れました。採用時の希望職種に技術研究所を選択してくれる学生もいて、2年連続で1名ずつ採用しています。

当研究所では、ジョブローテーションを頻繁に行っていないことが特徴かもしれません。一人前の研究者として成長するには、数年かかると考えています。また、当研究所は、1グループ毎の人数が少ないため、頻繁に人材を入れ替えることが難しいのが現状です。一方で、現場を知らなければ実践的な技術開発は行えませんので、入社3～5年目程度の研究所メンバーは、当人の研究テーマに関する現場を選定して、その現場の起工から竣工までの一通りが経験できるよう、1～2年間は現場に配属するようにしています。

研究成果の現場への実装は

もともと現場指向が強い研究・開発を行っていることが当研究所の特色です。研究・開発する技術テーマは、支店や現場からの要望を集め、社長をはじめとする経営幹部が参加した会議で決定しています。このため、研究の成果は、現場との親和性が高いものであり、タイミングよく現場が見つければ、現場での実証から実施工での運用までが



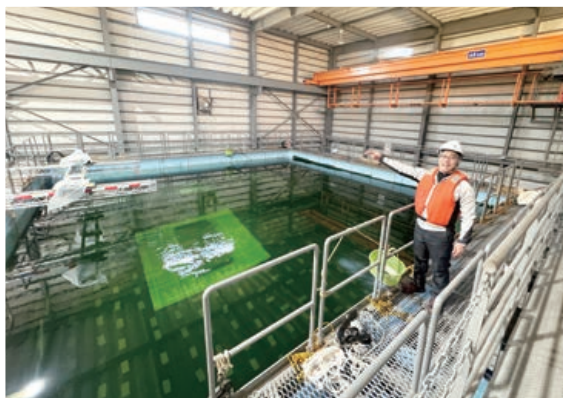
吊荷旋回制御装置「アクアジャスター」の説明



試薬噴霧機能付きCPTビデオコーン貫入試験器「WIT-video-CPT」



実験装置は手作りで



大型実験水槽(幅10m×長さ10m×深さ5m)

スムーズに運びます。

毎年だいたい20～25テーマの研究・開発を行っています
が、最近の研究成果としては、地盤系では「試薬噴霧機能
付きCPTビデオコーン」、コンクリート系では「コンクリー
トAI締固め管理システム」、沿岸ICT系では「ブロック据
付管理システム：WIT B-Fix Neo」などがあります。

研究者の生活は

始業は9時、終業は5時半ですが、早く来る所員もいま

すし、帰宅する時刻は人それぞれです。月に1回、全体の
連絡会を行って、他グループの状況を共有できるようにし
ています。

独身者は木更津周辺のアパートを借りています。家族持
ちは主に千葉・横浜などから車で通勤しています。なので、
アクアラインが通行止めになると結構大変です。

昼ご飯は、最寄りのレストランなどへ行こうとすると車
で往復30分程度かかるので、愛妻弁当の人もありますが基
本的にはテイクアウトです。出勤したら、その日のお店の
メニューを見て注文を書いておくと、研究所の事務員さん
が買ってきてくれるシステムです。お店は、「ホットモッ
ト」「ガスト」「すき家」「Coco壱」から、曜日で決めてあ
ります。

年に1～2回はBBQ大会、また、研究所のメンバーで
バドミントン部を作りました。昼休みには実験場の空きス
ペースで、2ヶ月に1回は体育館を借りてゲームを楽しんで
います。



バドミントン部の面々

今後の展望は

洋上風力発電をはじめとする自然エネルギーや循環型エ
ネルギーへの移行や脱炭素社会に向けたブルーカーボンへ
の取り組みが今まで以上に重要な技術テーマになってくる
と思います。これらの技術は一朝一夕に成果が出るもので
はありませんから、中長期的な視点で取り組んでいきたい
と思っています。

若い世代には、色々なことに興味を持ち、仕事の中に面
白さやメリットを見つけて仕事を楽しんで欲しいと思っ
ています。

学生時代はロックバンドでギターを弾いていたという壹岐所
長。いまはジャズギターに転向。頭の中では次に出す音のこ
しか考えないのでリフレッシュになります、とのことでした。
取材へのご協力ありがとうございました。(CDIT取材班)